

科目名		精神障害治療学演習①				授業の種類	演習	講師名				
授業回数	30	回	時間数	60	時間	2	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年	後期
【授業の目的・ねらい】 精神障害領域における代表的な疾患に関する知識・評価方法・介入方法を学び、その作業療法について理解できる。												
【実務者経験】 作業療法士として、精神科作業療法、精神科デイケア、司法分野として、刑事施設における作業療法に従事経験。												
【授業全体の内容の概要】 疾患ごとに作業療法の方法論を理解する。実際の評価、治療アプローチについて模擬ケース等を通して経験する。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 精神障害と作業療法との関係を述べるができる 評価・プログラム立案等を考え、行うことができる												
回数	講義内容										準備物(教材)	
1	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.2）										教科書ほか	
2	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.2）										教科書ほか	
3	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.2）										教科書ほか	
4	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.2）										教科書ほか	
5	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.2）										教科書ほか	
6	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.2）										教科書ほか	
7	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.3）										教科書ほか	
8	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.3）										教科書ほか	
9	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.3）										教科書ほか	
10	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.4）										教科書ほか	
11	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.4）										教科書ほか	
12	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.4）										教科書ほか	
13	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.5）										教科書ほか	
14	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.5）										教科書ほか	
15	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.5）										教科書ほか	
	定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 山根寛著/精神障害と作業療法新版　三輪書店												
【準備学習・時間外学習】 精神医学で学んだ症候や疾患を前提にの学修を行いますので、十分に精神医学で学んだことは復習しておいてください。												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 試験は課題を30点、定期試験を70点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する。												

科目名	精神障害治療学演習②					授業の種類	演習	講師名				
授業回数	30	回	時間数	60	時間	2	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年	後期
【授業の目的・ねらい】 精神障害領域における代表的な疾患に関する知識・評価方法・介入方法を学び、その作業療法について理解できる。												
【実務者経験】 作業療法士として、精神科作業療法、精神科デイケア、司法分野として、刑事施設における作業療法に従事経験。												
【授業全体の内容の概要】 疾患ごとに作業療法の方法論を理解する。実際の評価、治療アプローチについて模擬ケース等を通して経験する。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 精神障害と作業療法との関係を述べることができる。 評価・プログラム立案等を考え、行うことができる。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
16	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.6）										教科書ほか	
17	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.6）										教科書ほか	
18	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.6）										教科書ほか	
19	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.7）										教科書ほか	
20	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.7）										教科書ほか	
21	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.7）										教科書ほか	
22	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.8）										教科書ほか	
23	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.8）										教科書ほか	
24	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.8）										教科書ほか	
25	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.9）										教科書ほか	
26	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.9）										教科書ほか	
27	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.10）										教科書ほか	
28	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.10）										教科書ほか	
29	8. 精神認知系作業療法の理論・モデル・関連療法（8.1-8.4）										教科書ほか	
30	まとめ										教科書、配布資料	
	定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 山根寛著/精神障害と作業療法新版（三輪書店）												
【準備学習・時間外学習】 精神医学で学んだ症候や疾患を前提にの学修を行いますので、十分に精神医学で学んだことは復習しておいてください。												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は課題を30点、定期試験を70点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。												